

# 2017年3月期 第1四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) トピックス
- 7) 減価償却費と研究開発費
- 8) 上期業績見通し
- 9) 上期業績見通し 修正のポイント
- 10) 通期業績見通し

**日本光電工業株式会社**

銘柄コード:6849

2016年8月1日

# 1) 決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2016/3 第1四半期	2017/3 第1四半期	増減率 (%)
売上高	32,687	31,402	△ 3.9
国内売上高	23,971	23,878	△ 0.4
海外売上高	8,715	7,524	△ 13.7
営業利益	132	△ 416	—
経常利益	610	△ 1,472	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	239	△ 1,086	—

← ● 為替影響除く: △7%

	2016/3 Q1	2017/3 Q1
粗利率:	47.6%	→ 48.7%
販管費率:	47.2%	→ 50.0%

← ● 為替差損益: 差益3.5億円 → 差損12.9億円

平均レート	(2015/6)	(2016/6)
1ドル	120.9円	112.8円
1ユーロ	132.9円	125.8円

## 2) 決算のポイント

### 売上高：前年同期比 3.9%減

- ・国内：病院・診療所市場では、前年同期を上回ったものの、PAD市場で、AEDの販売が低調。
- ・海外：新興国市場における通貨安、原油安の影響に加え、円高による為替換算の目減りもあり、減収。

### 営業損失：416百万円（前年同期は132百万円の営業利益）

- ・原価率：生産性向上等により改善。
- ・販管費：経費抑制に努める一方、業容拡大に向けた人員の増強により人件費が増加。

### 経常損失：1,472百万円（前年同期は610百万円の経常利益）

- ・為替差損益が差損に転じる。

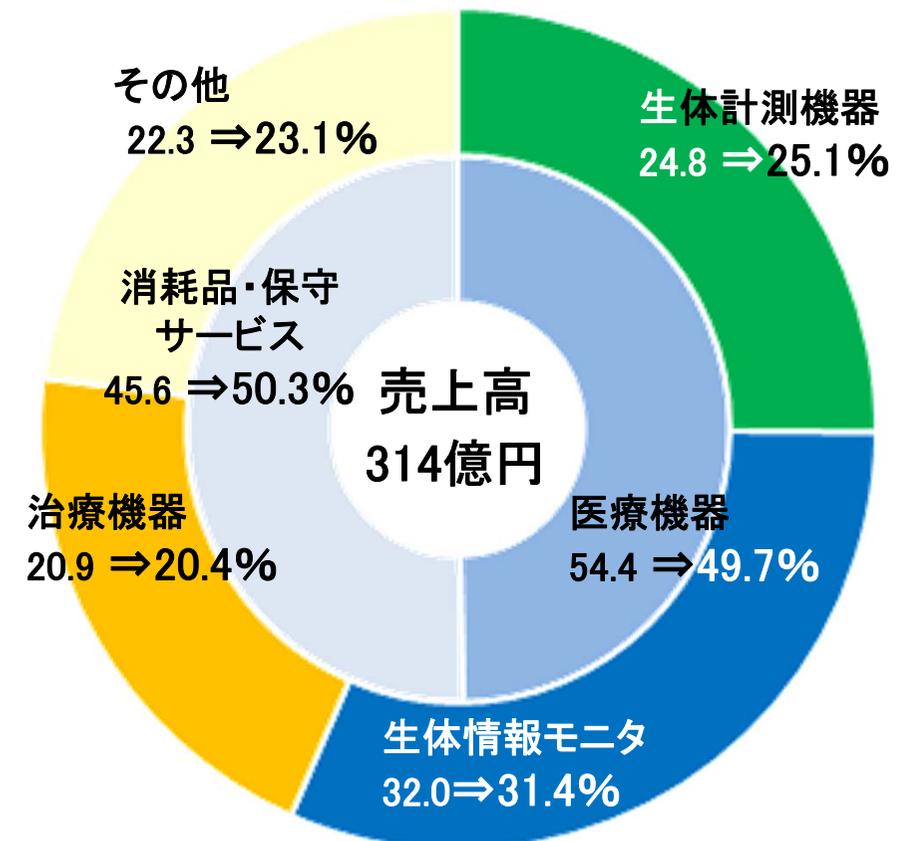
# 3) 商品群別売上高

(単位:百万円)

	2016/3 第1四半期	2017/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	8,110	7,896	△ 2.6
生体情報モニタ	10,472	9,862	△ 5.8
治療機器	6,824	6,409	△ 6.1
その他	7,279	7,235	△ 0.6
売上高合計	32,687	31,402	△ 3.9
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	14,889	15,791	6.1

## 商品群別売上構成比

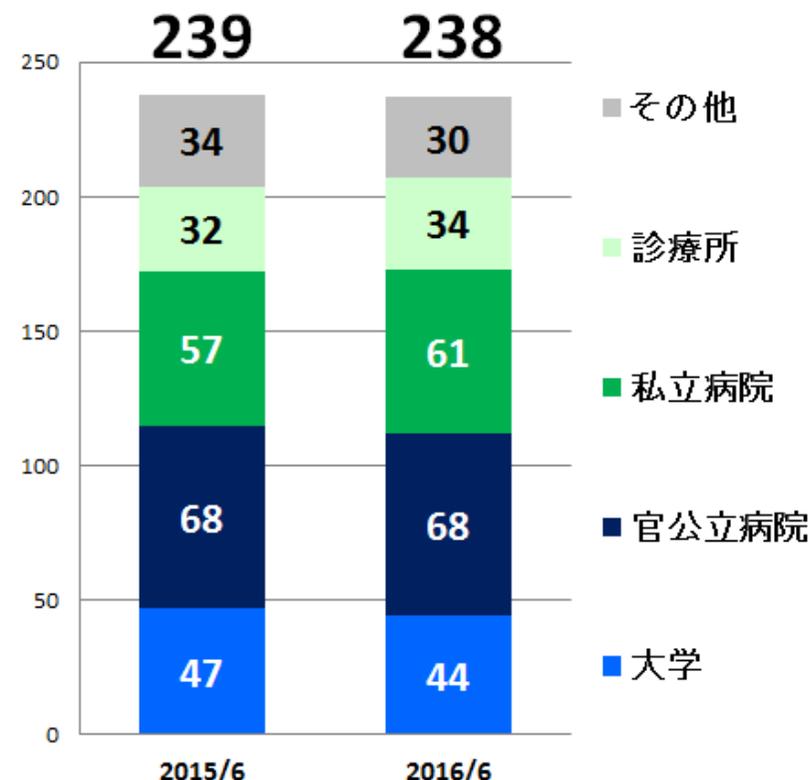
(2015/6 ⇒ 2016/6)



# 4) 国内売上高

## 【市場別売上高】

(億円)



## 【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2016/3 第1四半期	2017/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	6,179	6,271	1.5
生体情報モニタ	6,655	6,693	0.6
治療機器	4,984	4,646	△ 6.8
その他	6,151	6,266	1.9
<b>売上高合計</b>	<b>23,971</b>	<b>23,878</b>	<b>△ 0.4</b>

【市場別】 私立病院、診療所市場が好調。官公立病院市場は前年同期並み、大学病院市場は前年同期を下回る。PAD市場では、AEDの販売が更新需要の鈍化により低調。

【商品群別】 生体計測機器：心電計群、診断情報システムは前年同期を下回るも、脳神経系群、心臓カテーテル検査装置群が好調。

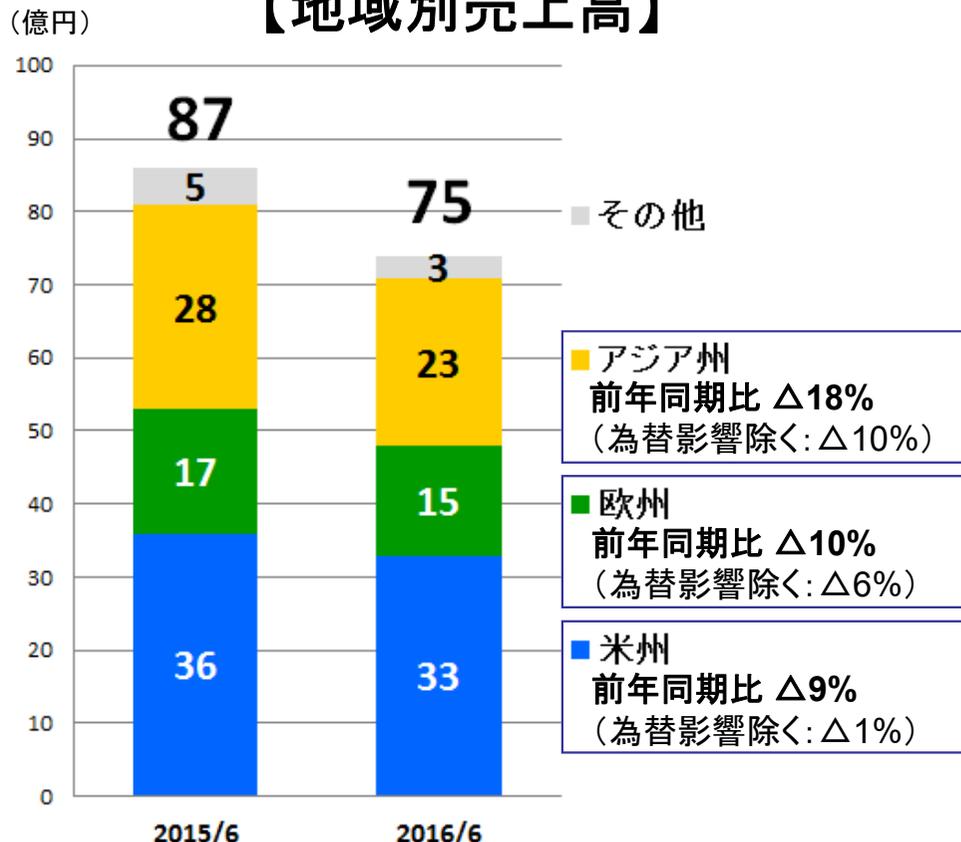
生体情報モニタ：ベッドサイドモニタ、送信機、消耗品・保守サービスが好調に推移。臨床情報システムは低調。

治療機器：人工呼吸器、ペースメーカー・ICDは好調に推移するも、除細動器、AEDが低調。

その他：検体検査装置が前年同期を上回る。自社品の販売強化策により、現地仕入品を抑制。

# 5) 海外売上高

## 【地域別売上高】



## 【海外売上高比率】

2016/3 第1四半期	2017/3 第1四半期
26.7%	24.0%

## 【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2016/3 第1四半期	2017/3 第1四半期	増減率 (%)
生体計測機器	1,930	1,624	$\Delta 15.8$
生体情報モニタ	3,817	3,168	$\Delta 17.0$
治療機器	1,840	1,763	$\Delta 4.2$
その他	1,127	968	$\Delta 14.1$
売上高合計	8,715	7,524	$\Delta 13.7$

為替影響除く:  $\Delta 7\%$

### 【地域別】

米州: 米国は現地通貨ベースでは前年同期を上回る。中南米が商流変更等により減収。

欧州: フランス、イギリスは好調に推移するも、ドイツが低調。

アジア州: 中近東が原油安の影響により、低調に推移。中国は現地通貨ベースでは前年同期を上回る。

### 【商品群別】

生体計測機器: 脳神経系群は全ての地域、心電計群は米州、欧州で前年同期を下回る。

生体情報モニタ: 全ての地域で前年同期を下回る。

治療機器: AEDは堅調に推移するも、除細動器が低調。

その他: アジア州で血球計数器が低調に推移。

# 6)トピックス

## 第1四半期の主な新商品

### 生体計測機器 脳神経系群

**EEGヘッドセット「AE-120A」** 2016年7月発売(国内)

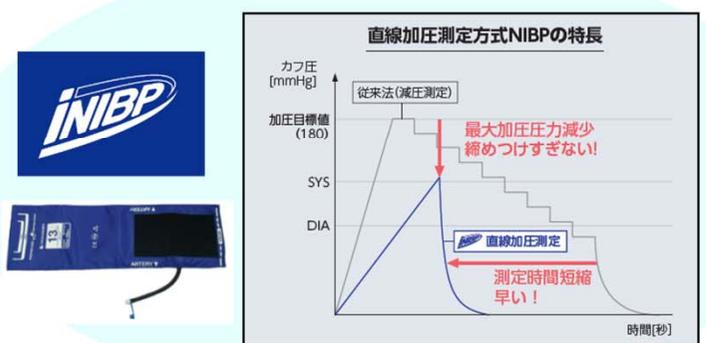
- ・簡単な装着で、迅速な脳波測定が可能。
- ・救急現場における、原因不明の意識障害患者に対する脳波測定のニーズに対応。特に、NCSE※の診断に有用。



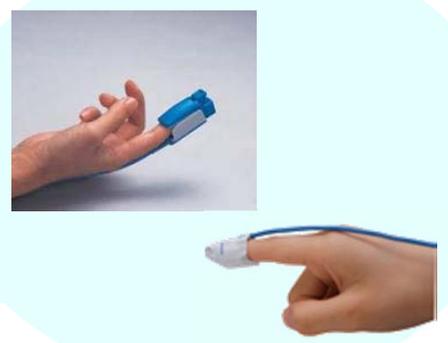
※非けいれん性てんかん重積状態 (Nonconvulsive Status Epilepticus: NCSE)  
原因不明の意識障害の1つ。けいれんを伴わないため、発作が起きていることが分かりにくい。早期の診断・治療が重要。

## 独自センサのOEM事業の推進

### NIBP※モジュール



### SpO<sub>2</sub>センサ



### CO<sub>2</sub>センサ



⇒ 日機装(株)とOEM供給契約締結

⇒ 海外の医療機器メーカーと協議中

# 7) 減価償却費と研究開発費

(単位: 百万円)

	2016/3 第1四半期	2017/3 第1四半期	増減額	2016/3 実績	2017/3 計画
減価償却費	747	733	△ 13	3,459	4,000
研究開発費	1,254	1,242	△ 12	5,910	7,300

## 【2017/3期設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、工場生産設備、富岡第二工場改修工事

所沢 総合技術開発センターの建設 { 完成・移転: 2016年秋  
設備投資額: 72億円 < 2016/3: 34億円  
2017/3: 38億円

朝霞 事業所の建設(免疫試薬部門の移転) { 完成・移転: 2016年冬  
設備投資額: 約11億円 < 2016/3: 2億円  
2017/3: 9億円

# 8) 上期業績見通し

(単位:億円)

	2016/3 上期実績	2017/3 上期				対前年同期 増減率(%)
		期初予想 ①	8月1日 修正予想 ②	予想差 (②-①)		
売上高	734	780	750	△ 30	2.0	
国内売上高	532	—	—	—	—	
海外売上高	202	—	—	—	—	
営業利益	42	45	37	△ 8	△ 12.3	
経常利益	44	45	28	△ 17	△ 36.4	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25	29	18	△ 11	△ 28.5	

※8月1日時点の、第2四半期以降の為替の前提は、105円/米ドル、116円/ユーロです。

## 9) 上期業績見通し 修正のポイント

### 売上高：750億円（前回発表から30億円減）

- ・第2四半期は、国内外ともに売上回復を見込むものの、第1四半期の落ち込みを補うには至らず。為替換算レートが当初想定より円高に推移。
- ・国内：入院医療の評価見直しに伴う医療機器の需要を取り込むべく、急性期病院、中小病院での取り組みを強化、提案型営業を推進。
- ・海外：米国モニタリング事業では、IDN※との契約・商談は増加基調。エジプトで大口商談を受注するなど、新興国市場における受注も回復基調。

### 営業利益：37億円（前回発表から8億円減）

- ・将来の成長に必要な投資を行いつつ、開発から生産に至るまでのコストダウンを図る。
- ・販管費は前年同期比増を見込むも、伸びを抑制。

# 10) 通期業績予想

## 【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	2016/3 実績	2017/3 予想	増減率 (%)
売上高	165,522	175,000	5.7
国内売上高	121,989	127,000	4.1
海外売上高	43,533	48,000	10.3
営業利益	16,438	17,500	6.5
経常利益	16,116	17,500	8.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,516	11,500	9.3

	2016/3 実績	2017/3 予想	増減率 (%)
生体計測機器	39,218	40,800	4.0
生体情報モニタ	54,823	59,250	8.1
治療機器	30,611	32,600	6.5
その他	40,868	42,350	3.6
売上高合計	165,522	175,000	5.7
(ご参考)			
消耗品・保守サービス	67,684	72,400	7.0

国内外ともに当初の想定よりも売上が下期偏重、今後さらに収益改善の取り組みを強化することから、前回発表予想を据え置き

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

**【担当部署】 経営戦略部**

**【連絡先】 TEL03-5996-8003**